津航一さん。航一さんが低学年の頃ある出来事から預けた親戚が名乗りを上げ、「ゆりかご以前」が判明。

航一さんの実母は交通事故で亡くなっていたことも分かったのです。18歳になった航一さんは「ゆりかごに助けられて今がある。これからは「ゆりかご後」を広く伝えていきたい」と語っていました。4月から成人年齢が18歳になりました。みな、立派な18歳を迎えて社会に旅立って欲しいです。

ドラゴンへの階段 第㊱回（連載エッセイ版）

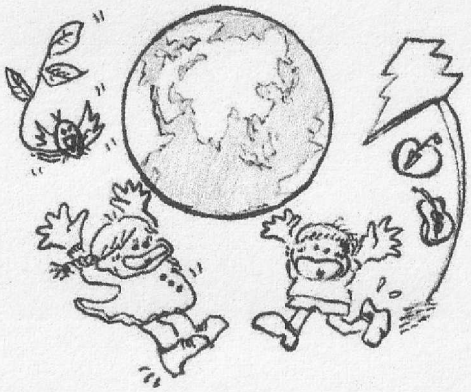
「もともとは同志」

佐藤　洋祐

私の住む家の、陽の当たる側の大きな窓の真ん前に立っている一本の柿の木があります。例年のことですが、冬の間はいっさいの葉を落としてじっと寒さに耐えていたこの木が、今年も数日前に葉っぱの素になる芽のようなものを枝先に着けてからあっという間にそれらを若々しい薄葉に育て上げて、今や木全体として良好な天然のカーテンになってくれました。というのは、葉はこれから更にその緑を濃く大きく育って夏の強過ぎる日差しをやわらげ私の部屋を涼しく保ってくれ、また表通りから見ても部屋の中の様子がわからないようにプライバシー保護にも役立ってくれるんですから。お隣りさんの木ですが、我が家にとっても有難い柿なのです。

柿の木にしてみればもちろんこちらへの親切心でそうなるのではなく、別に目的とする「何か」があります。その目的遂行の副産物として、たまたま我が家を住み良くしてくれる恩恵をくれます。そういう予期せぬ恵みって頻繁には無いから、私からすれば文字通り、有難いです。

生命は様々な「何か」を目的に生きます。ところで私って特に高価な何かを欲しがるでもなく、時間があればただただ音楽の練習をしている、かなりお金のかからない方のおじさんだと思います（笑）が、時折ふと我にかえって、「なんでこうして、ずっと練習をしているんだろう？」と思うことがあります。音楽、楽器の演奏や歌が上手になりたいから。それはそうでしょう、でもそれは何のために？お金のため？皆さんの喜んでくださるお顔が見たくて？自分の決めた道を踏破して得られる満足感のため？はい、どれもそうでしょう、が、それら一つひとつが満たされていったとしても、それでも満足できずに練習を続けるな、という推論に達します。言ってみれば、究極の、完全な「何か」が得られるまでは。



挿絵　TAKAKO

世の中の全ての人、あらゆる生き物がいろいろな「何か」を求めて、全員がそれぞれ全く別々の手段で目的を追求しています。特に現代の人間社会はこれほど多様化した時代にあって、その内容も手段も以前に増して様々です。千の人がいれば千の「何か」、千の手段がありましょう。万なら万、億なら億の。私の練習みたいなささやかなものもあれば、中には莫大な費用や労力をそこに費やすものもありましょう。場所、分野、規模、ひとつとして同じものはありません。

そして、それぞれの活動が我が家と柿の木のように、お互いの利害を抵触しないなら幸いですが、必ずしも良いハーモニーの下にそれらを進められる訳では無いでしょう。例えばその柿の木の枝に大きなスズメバチが巣を作ろうものなら…。私もそれを妨害しなくてはなりません、自分の生活の安全を守るために。スズメバチだって彼らの目的達成のために、私と戦ってでも巣を作りたいかも知れません。そういう利害の不一致が、世の中の調和を乱す行いとなって、大なり小なり、いろいろな形で出現していることは皆さまもよくご存じのことと思います。これは異なる目的に付随した異なる利害を持つ生き物たち、人間たちが同じ時間、同じ場所で生きる以上、常に起こり得る不調和です。

それでも、先ほどの私の練習の話しの折に現れた「究極の、完全な『何か』」、に関して、私とスズメバチも一緒なのではないのかな、と思うのです。自己実現、社会貢献、お金、安全、正義、いろいろな目的、手段があり、それぞれの生み出す利害がぶつかり合うのは致し方ない。が、それらを超えた究極の「何か」は、あらゆるこの世の生命に共通であると信じたいのです。

だから、スズメバチさん、ここに巣を作られては困るけど、いじめたり命をとったりはしないからね、あっちに行って、別のところで巣を作ってくださいね、と働きかけるのです。だって本当は、おなじ目的のために全力で生きている同志なんですもの。言葉の通じない人間とハチの間でも、困難はあれ交渉や妥協点を見出すことは可能です。いわんや人間同志をおいてをや。怒ったり、攻撃したり、排除したりせず、できるだけ交渉の機会、接する頻度を多く保ち、もともと同じ「何か」を忘れずに、その獲得のために協力しよう、と、自分自身に言い聞かせる。そんな私の部屋の窓から見える柿の葉が、今もキラキラと綺麗です。

（2022年4月10日筆）

佐藤　洋祐（サトウ　ヨウスケ）
ジャズミュージシャン。サックス奏者としてグラミー賞を2度受賞。2015年末より佐倉市在住。2019年よりシンガーとしても活動を開始。